第1号事業

平成25年度事業計画書

（単位：千円）

定　款	1　地域の歴史の記録保存及び普及啓発	事業・枝事業番号	1-1
事業名	郷土資料の調査収集・活用	担　当　課	学芸課
		変更内容	成果指標
目　的	1.区民共有の財産である郷土資料を未来に継承していくために、新宿区に関する郷土資料を継続的に調査・収集し、必要な整理と修復の整備を行い、適切な環境下で保存していく。2.展示や事業等で積極的に活用していくため、資料の整理・修復とともに資料が活用しやすい環境整備を行う。 3.新宿区の歴史・文化継承と区民へのサービス向上のため計画的な資料収集を行う。		

区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業収益	0	0	0	部	経常増減の部
区補助金	21,485	24,216	△ 2,731	大	事業費
経常収益計	21,485	24,216	△ 2,731	中	1号事業費
事業費	3,677	6,429	△ 2,752	種別	補助事業
人件費	17,808	17,787	21		
経常費用計	21,485	24,216	△ 2,731		

事業の計画

1　実施内容（予定）

(1)所蔵資料の適正な整理・保管を行う。
(2)広報課（現 区政情報課）フィルムのデジタル化を行い、デジタルアーカイブ推進の準備をする（計7,000本、5年計画3年目）。
(3)閲覧図書の修理製本計画を基に整理や修理を行い、資料の積極的な利用を促進する。
(4)来館者・電話等へのレファレンス、及び所蔵資料の貸出業務を行う。
(5)平成23年度から引き続き、区内学校所蔵資料の修復・複製作成を行う。

2　成果指標

広報課（現 区政情報課）フィルムのデジタル化：700本（H23：取扱い件数19,331件）

3　実施上の課題

(1)新宿区の歴史・文化継承と区民サービス向上のため、計画的な郷土資料収集、学校活用資料購入を実施する。
(2)資料を積極的かつ有効に活用をするため、小中学校へのハンズオン等の活用周知を行う。
(3)所蔵資料展や学校教育の中で、さらに所蔵資料の活用を積極的にすすめる。

4　顧客満足度の向上方策

これまでレファレンス及び所蔵資料の貸出業務の窓口担当者を特に定めていなかったが、平成25年度からは窓口担当者を決め、これまで以上にスムースに効率的に業務を遂行できるようにする。

5　実　　績

	実施内容
21年度	錦絵の修復（238点）。音声資料のデジタル化（368本分）。レファレンス3,619件。
22年度	戦前の地図の修復（5点）。林芙美子関連資料の修復(9点)。レファレンス3,384件。
23年度	出土品の修復（2点）。小学校所蔵資料の複製（1点）。レファレンス3,948件。

6　対前年度予算増減説明

学校所蔵資料修復・複製作成委託点数減による減（2点→0点）

根拠法令	博物館法、新宿区立新宿歴史博物館条例	事業開始	平成元年度

平成25年度事業計画書

（単位：千円）

定　款	1　地域の歴史の記録保存及び普及啓発	事業・枝事業番号	1-2
事業名	写真・映像等資料の整理・活用事業	担　当　課	学芸課
		変更内容	成果指標
目　的	1.博物館事業に活用できる環境整備を行うために、博物館所蔵の写真・映像資料等をデジタル化し、劣化を防止するとともに保存管理体制を整える。 2.博物館事業や観光事業等に活用していくために、新宿の歴史・文化・街並み・地域行事などを定期的に記録し、資料として保存する。 3.博物館に対する理解や来館のきっかけとするため、新宿にゆかりのある映像作品や歴史・文化の理解につながる映像作品を上映する。		

区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業収益	500	500	0	部	経常増減の部
自主財源	2,754	3,354	△ 600	大	事業費
区補助金	816	817	△ 1	中	1号事業費
経常収益計	4,070	4,671	△ 601	種別	自主事業
事業費	3,254	3,854	△ 600		
人件費	816	817	△ 1		
経常費用計	4,070	4,671	△ 601		

事業の計画

1　実施内容（予定）

(1)写真資料データベースと、検索機能付き公開用写真資料デジタルアーカイブの運用を行う。
(2)過去の聞き取り調査等の計画的活字資料化を行い、展示会や各種講座などでの活用を進める。
(3)新宿の歴史・文化・街並み・地域行事などの現況の映像記録、保存を計画的に行い、各種事業や観光事業等に活用する。
(4)写真資料の有料貸出に向け、区と協議、調整を進める。

2　成果指標

(1)貸出件数：500件（H23：整理活用件数11,952件）
(2)既経営計画　貸出件数650件→500件へ減

3　実施上の課題

定点撮影したものは、計画的にジャンル別、地域別等に映像化し、展示や事業等で活用する。

4　顧客満足度の向上方策

公開用デジタルアーカイブで閲覧できる写真の数を120枚から200枚以上に増加させる。

5　実　　績

	音声資料	写真・フィルム資料	映像テープ	整理活用点数合計
21年度	407	2,463	8	2,878
22年度	40	2,313	5	2,358
23年度	60	3,534	11	2,358

6　対前年度予算増減説明

写真資料データベースシステム回線使用料減による使用料賃借料の減

根拠法令	博物館法、新宿区立新宿歴史博物館条例	事業開始	平成19年度

平成25年度事業計画書

（単位：千円）

定　款	1　地域の歴史の記録保存及び普及啓発	事業・枝事業番号	1-3-(1)
事業名	文化財・史跡・伝統文化等の普及・啓発 (1)国史跡の普及啓発	担　当　課	学芸課
		変更内容	－
目　的	1.保護保存、普及活用に寄与するため、昭和31年に国史跡に指定された「江戸城外堀跡」の普及啓発活動を実施する。 2.文化財（史跡）の普及を図るとともに、保護保存を行うために、大正11年に国史跡に指定され、昭和50年より新宿区が管理している国史跡「林氏墓地」の公開と維持管理を行う。		

区分	予算額	前年度予算額	比較増減
事業収益	248	204	44
区補助金	1,002	1,204	△ 202
経常収益計	1,250	1,408	△ 158
事業費	821	978	△ 157
人件費	429	430	△ 1
経常費用計	1,250	1,408	△ 158

会計	公益目的事業会計
部	経常増減の部
大	事業費
中	1号事業費
種別	補助事業

事業の計画

1　実施内容（予定）

(1) 11月の文化財ウィークにあわせ、林氏墓地の公開を3日間行う。
(2) 林氏墓地関連史跡めぐりを11月に実施する。
(3) 林氏墓地内樹木の剪定を年間2回、除草を年間3回実施する。
(4) 林氏墓地史跡内墓石現状調査を年に1回実施する。
(5)「江戸城講座」を 5月 中旬から6月 下旬に5回開催する。
(6)「江戸城外堀跡史跡めぐり」を6月 に開催する。
(7) 参加者数実績増に伴い成果指標を変更する。

2　成果指標

参加者数：600人（H23 参加者数904人）

3　実施上の課題

(1)林氏墓地の公開は、PRを強化するとともに、周囲の文化財や関連する場所等と連携し、見学者の増加を図る。
(2)林氏墓地の墓石、樹木環境整備について、新宿区との協議が必要となっている。

4　顧客満足度の向上方策

史跡めぐりについては、外堀でのランニングイベント等の日程を確認のうえ実施日の調整を図り、より安全で説明を聞きやすい環境を用意する。また、ガイドの際には携帯用メガホンを活用する。

5　実　　績

各種講座参加人数　（単位：人）

	江戸城講座	江戸城史跡めぐり	林氏墓地公開	林氏史跡めぐり	合計参加人数
21年度	－	－	315	41	356
22年度	362	54	340	31	787
23年度	538	66	266	34	904

6　対前年度予算増減説明

消耗品内容精査による減

根拠法令	文化財保護法、新宿区文化財保護条例、新宿区立新宿歴史博物館条例	事業開始	平成21年度

平成25年度事業計画書

（単位：千円）

定　款	1　地域の歴史の記録保存及び普及啓発			事業・枝事業番号	1-3-(2)
事業名	文化財・史跡・伝統文化等の普及・啓発 (2)高田馬場流鏑馬の公開			担　当　課	学芸課
				変更内容	－
目　的	1.高田馬場流鏑馬（昭和63年、新宿区無形民俗文化財に指定）を主催する高田馬場流鏑馬保存会への支援・協力を行うことにより、保存・継承・普及に寄与する。 2.新宿区を代表する伝統行事である「高田馬場流鏑馬」を区内外に広くPRする。				

区分	予算額	前年度予算額	比較増減
事業収益	0	0	0
区補助金	3,405	3,331	74
経常収益計	3,405	3,331	74
事業費	3,130	3,056	74
人件費	275	275	0
経常費用計	3,405	3,331	74

会計	公益目的事業会計
部	経常増減の部
大	事業費
中	1号事業費
種別	補助事業

事業の計画

1　実施内容（予定）

(1)実施日時　10月14日（月・祝）14時～
(2)会場　都立戸山公園　箱根山地区
(3)主催　高田馬場流鏑馬保存会
(4)後援　新宿区、新宿区教育委員会、東京都教育委員会（いずれも予定）
(5)協力　穴八幡宮、新宿歴史博物館

2　成果指標

観覧者数：3,500人（H23 観覧者数3,700人）

3　実施上の課題

毎年3,500人を超える観覧者が集まるため、安全性を重視した運営を行う。

4　顧客満足度の向上方策

－

5　実　　績

平成20年度　観覧者数：3500名
平成21年度　観覧者数：3700名
平成22年度　観覧者数：3700名
平成23年度　観覧者数：3700名

6　対前年度予算増減説明

英語版チラシ印刷による増（隔年）

根拠法令	文化財保護法、新宿区文化財保護条例、新宿区立新宿歴史博物館条例	事業開始	昭和54年度

平成25年度事業計画書

（単位：千円）

定　款	1　地域の歴史の記録保存及び普及啓発	事業・枝事業番号	1-3-(3)
事業名	文化財・史跡・伝統文化等の普及・啓発 (3)新宿区伝統芸能フェスティバル	担　当　課	学芸課
		変更内容	事業規模
目　的	1.区指定無形文化財「戸塚囃子」「萩原社中里神楽」、登録無形文化財「落合餅つき唄」の上演場所を提供。保存と育成を図る。 2.名誉区民をはじめ、区内在住の伝統芸能の技術を有する方の実演を行い、技能の公開・継承に寄与していく。 3.新宿とは性格の異なる地域の団体も招き、新宿の民俗芸能・伝統芸能をより深く理解して、保護と活用に貢献していく。		

区分	予算額	前年度予算額	比較増減
事業収益	0	66	△ 66
区補助金	826	1,215	△ 389
経常収益計	826	1,281	△ 455
事業費	629	1,084	△ 455
人件費	197	197	0
経常費用計	826	1,281	△ 455

会計	公益目的事業会計
部	経常増減の部
大	事業費
中	1号事業費
種別	補助事業

事業の計画

1　実施内容（予定）

(1) 平成25年度より、舞台上演による伝統芸能の普及と、講座・体験形式による伝統芸能等の普及を隔年で実施し、伝統芸能の発展を推進する。
平成25年度は無形伝統芸能等の普及の年度とし、年2回実施する。
会場　新宿歴史博物館講堂

(2) 実施内容変更に伴い成果指標を変更する。

2　成果指標

(1)参加数：100人（H23来場者数288人）
(2)既経営計画　来場者数240人→参加数100人へ変更

3　実施上の課題

平成25年度は投扇興等を取り上げ実施するが、初めての試みのため、区民等に積極的に周知する。

4　顧客満足度の向上方策

伝統芸能に実際に触れる体験型のイベントもメニューに加える。

5　実　　績

平成21年度　11月21日（土）　於：四谷区民ホール
観覧者数187人（有料観覧者数103人）　出演団体5団体
平成22年度　10月23日（土）　於：四谷区民ホール
観覧者数206人（有料観覧者数94人）　出演団体5団体
平成23年度　11月26日（土）　於：牛込箪笥区民ホール
観覧者数288人（有料観覧者数217人）　出演団体6団体

6　対前年度予算増減説明

平成25年度は講座・体験形式による事業実施年のため、各費用の減による減。

根拠法令	新宿区文化財保護条例、新宿区立新宿歴史博物館条例	事業開始	平成9年度

平成25年度事業計画書

（単位：千円）

定　款	1　地域の歴史の記録保存及び普及啓発	事業・枝事業番号	1-4-(1)
事業名	新宿区の歴史・文化の普及・啓発 (1)展示会の開催	担　当　課	学芸課
		変更内容	－
目　的	1.新宿の歴史・文化に理解を深めるため、常設展示で取り上げていないテーマに関して展示会を行う。 2.区民等に新宿の歴史・文化に接する啓発を行うため、普段は展示・公開していない博物館の所蔵資料を公開する。 3.多様な機関との連携構築による展示会を開催する。		

区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業収益	0	3,000	△ 3,000	部	経常増減の部
区補助金	33,126	34,133	△ 1,007	大	事業費
経常収益計	33,126	37,133	△ 4,007	中	1号事業費
事業費	11,073	15,095	△ 4,022	種別	補助事業
人件費	22,053	22,038	15		
経常費用計	33,126	37,133	△ 4,007		

事業の計画

1　実施内容（予定）

(1)特別展：中村彝と新宿ゆかりの芸術家たち

①「中村彝展」 平成25年4月1日～5月12日　40日間《全会期：平成25年3月17日～5月12日　56日間》
　中村彝アトリエ記念館開館記念特別展

②「新宿の文化財」 平成25年9月14日～11月4日　49日間
　文化財保護条例30年記念特別展

(2)所蔵資料展

①「商家の宝」 平成25年5月18日～7月7日　48日間

②写真展「新宿　昭和40年代」 平成26年2月8日～4月10日　44日間

(3)協働企画展

①「アトム展」（新宿区総務部） 平成25年7月20日～9月1日　41日間

②「林芙美子展」 平成25年11月16日～平成26年1月26日　58日間
　林芙美子生誕110年記念協働企画展　北九州市、鹿児島市、尾道市、新宿区での巡回展

2　成果指標

来場者数：22,000人（H23 来場者数15,107人）

3　実施上の課題

(1) 区民の共有財産である所蔵資料を活用した歴史・文化の普及と多様なメディアを利用した積極的PRを行う。

(2) より多くの文化資源の公開・活用をめざすため、区内外の協働連携機関を求める。

(3) 巡回展等魅力ある展示会を開催する。

4　顧客満足度の向上方策

文字の大きさをご高齢の方でも見やすい大きさにする等、展示・陳列を配慮する。

5　実　　績

(1)特別展：平成23年度 「『「蜀山人』大田南畝と江戸のまち」観覧者2,675人

(2)所蔵資料展：平成23年度 「錦絵の世界」観覧者2,415人
「堀潔が描いた新宿風景」観覧者1,906人
「新宿の遺跡」観覧者3,625人
「平塚運一と落合の版画家」観覧者1,707人

(3)協働企画展：平成23年度 「新宿中村屋に咲いた文化芸術」観覧者774人
（平成22年度から継続展示、平成23年度分）
「新宿区立小学校−受け継がれた学び舎の宝」観覧者数2,005人

6　対前年度予算増減説明

展示会の経費精査に伴う減。

根拠法令	博物館法、新宿区立新宿歴史博物館条例	事業開始	平成22年度

平成25年度事業計画書

（単位：千円）

定　款	1　地域の歴史の記録保存及び普及啓発	事業・枝事業番号	1-4-(2)
事業名	新宿区の歴史・文化の普及・啓発 (2)ミニ博物館の支援	担　当　課	学芸課
		変更内容	事業規模
目　的	1.歴史・文化資源の保護と活用を図るため、区内の文化資源・産業の実態を展示公開しているミニ博物館の支援を行い、地域文化の核とする。 2.民間の歴史・文化資源の保護・育成を図るとともに、区民が親しめる拠点として充実させる。		

区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業収益	0	0	0	部	経常増減の部
区補助金	977	1,514	△ 537	大	事業費
経常収益計	977	1,514	△ 537	中	1号事業費
事業費	780	1,317	△ 537	種別	補助事業
人件費	197	197	0		
経常費用計	977	1,514	△ 537		

事業の計画

1　実施内容（予定）

(1)ミニ博物館パンフレットのうち、在庫僅少のものを増刷する。
(2)看板等設備の修繕を行う。
(3)区内の伝統工芸に関する講座等を開催し、ミニ博物館との連携を進める。
(4)博物館ミュージアムショップにてミニ博物館商品の販売を行う。

2　成果指標

パンフレット増刷（3か所）（H23 来館者数20,254人）

3　実施上の課題

身近な文化資源として一層、活用・周知を展開する。

4　顧客満足度の向上方策

－

5　実　　績

平成22年度
(1)パンフレットの印刷（染ものがたり、熊野神社、つまみかんざし、目白学園）
(2)熊野神社看板の修繕
(3)二葉苑、染ものがたり博物館と連携し、地場産業講座を開催
平成23年度
(1)パンフレットの印刷（須賀神社、東京染ものがたり博物館、新宿ミニ博物館マップ）
(2)須賀神社掲示板修繕及び目白学園遺跡設置パネル表記訂正
(3)二葉苑と連携し、夏休み子ども講座を開催

6　対前年度予算増減説明

内容精査による減

根拠法令	博物館法、新宿区立新宿歴史博物館条例	事業開始	平成3年度

平成25年度事業計画書

（単位：千円）

定　款	1　地域の歴史の記録保存及び普及啓発	事業・枝事業番号	1-4-(3)
事業名	新宿区の歴史・文化の普及・啓発 (3)各種講座－講座・講演会	担　当　課	学芸課
		変更内容	統合
目　的	1.歴史や文化財に興味を持ってもらい、学ぶことの楽しさを体験することで、親しみやすく身近な博物館へつなげる。 2.機会と場の提供を行い、歴史や文化に対し学ぶきっかけづくりを行っていく。 3. 受講者のニーズに合ったテーマを設定し、座学・実技・見学等バランス良くバリエーションのある内容・形態で構成し、参加者満足度を高める。		

区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業収益	1,204	1,108	96	部	経常増減の部
自主財源	305	△ 37	342	大	事業費
区補助金	275	275	0	中	1号事業費
経常収益計	1,784	1,346	438	種別	自主事業
事業費	1,509	1,071	438		
人件費	275	275	0		
経常費用計	1,784	1,346	438		

事業の計画

1　実施内容（予定）

(1) 歴史講座「文化財の見方」（全5回　単回受講可　定員60名　全回2,000円　1回500円）
(2) 古文書講座　初級編（全5回）　中級編（全5回）単回受講不可　各定員60名　2,000円
(3) 美術史講座（全5回　単回受講不可　定員60名　全回2,000円　）
(4) 学芸員と学ぶ新宿の歴史・文化講座（全7回　1～2月　単回受講不可　定員60名　3,000円）
(5) 伝統工芸講座（ア　ミニ博物館　イ　その他）（2回 定員30名）
(6) 体験講座（単発講座　定員30名　500円＋実費）
(7) 所蔵資料展関連講演会（所蔵資料展1回毎に開催予定　定員60名　1回500円）
(8) 自分史講座（全3回　定員60名　1回500円）
(9) 近代の歴史講座（全3回　定員60名　1回500円）
(10) 中高生歴史講座（単発講座　定員30名　1回200円）
(11) 夏休み向け講座（単発講座　定員30名　1回200円）
(12) 車両検修場見学会（2回　定員各回40名　各回200円）
(13) 各種講演会
(14) その他協働講座、協働講演会
※(10)から(12)は「4-3-(6)歴史　小・中・高生対象事業」の内容を精査し、当事業へ移行したもの。

2　成果指標

(1)参加者数：2,430人（H23　参加者数1,712人）
(2)既経営計画　参加者数2,110人→2,430人へ増

3　実施上の課題

(1) アンケート結果をもとに受講者の多様なニーズに応えられるよう、土、日曜日以外の平日（月曜日を含む）に講座を提供し選択肢を広げる。
(2) 児童・生徒及び保護者のニーズを調査・分析し、他機関と連携して新たなコンテンツを開発する。

4　顧客満足度の向上方策

新しい講座内容を盛り込んだり、歴史に興味を持ってもらうための入門的な講座を行ったり、内容に幅を持たせた企画を行う。

5　実　　績

平成23年度　11講座（延34日）、定員740人(延2,420人)、当選者779人、延受講者数1,712人
平成22年度　20講座（延51日）、定員940人(延2,440人)、当選者908人、延受講者数2,251人

6　対前年度予算増減説明

「4-3-(6)歴史 小・中・高生対象事業」から事業移行に伴う予算の増。講座・講演会数増加による増。

根拠法令	博物館法、新宿区立新宿歴史博物館条例	事業開始	平成19年度

平成25年度事業計画書

（単位：千円）

定　款	1　地域の歴史の記録保存及び普及啓発	事業・枝事業番号	1-4-(4)
事業名	新宿区の歴史・文化の普及・啓発 (4)教育機関との連携	担　当　課	学芸課
		変更内容	定款事業区分
目　的	1.新宿区内在学・在住の児童・生徒が、新宿区の歴史や文化に対する興味と親しみを深め郷土愛を育むため、学校単位での博物館利用を進める。2.区内の小中学校と連携・協力し、児童・生徒の地域学習・歴史学習への理解を深める取り組みを推進することで、学校の教育活動を支援する。		

区分	予算額	前年度予算額	比較増減
事業収益	0	0	0
区補助金	2,307	1,493	814
経常収益計	2,307	1,493	814
事業費	473	323	150
人件費	1,834	1,170	664
経常費用計	2,307	1,493	814

会計	公益目的事業会計
部	経常増減の部
大	事業費
中	1号事業費
種別	補助事業

事業の計画

1　実施内容（予定）

(1) 小中学校からの社会科見学、中学生職場体験の受入を行う。
(2) 新宿の歴史や博物館資料について、学校に対するレファレンス協力を周知する。
(3) 学校授業へ貸出用博物館資料の貸出を行う。
(4) 区立小学校の新3年生に「小学生向けリーフレット」を配布する。
(5) 区立中学校の新1年生に「中学生向けリーフレット」を配布する。
(6) 貸出用博物館資料と体験プログラムを充実させる。
(7) 教職員研修会・研究会との調整を行う。
(8) 新宿の歴史・文化に関する新たな学校授業メニューの提案と、学芸員による出張授業を行う。
(9) 学校授業メニュー提案、学芸員による出張授業等、小中学校との連携強化のため事業規模を変更する。
(10)インターンシップ、学芸員実習を受け入れる。
(11)本年度の小中学生向けパンフレットは、落合地区の文化人を紹介する小冊子を作成する。
(12)博物館での子ども向けプログラムを実施する。

2　成果指標

連携学校数：40校（H23　43校）

3　実施上の課題

(1)小中学校の社会科見学利用促進、特に中学校の利用件数増加に向けて、
　実施前年度の1～3月に区教育委員会と調整を行う。
(2)各時代、テーマに合致した体験用資料の増加と整備、及び博物館の展示や資料を活用した、わかりやすく適切な講義が行なえる人材を育成する。
(3)資料を通じて生活史、体験を伝えるボランティアガイドの導入と育成を行う。
(4)小中学校へ授業提案メニューやハンズオン等の周知を行い、学校教育の中での博物館資料の活用を充実させる。

4　顧客満足度の向上方策

学校等の教育機関が利用しやすいような体制づくりと、直接学校に博物館の活用法を案内していく。

5　実　　績

(1)社会科見学・職場体験の受入　　平成22年度　26校　1,299人
　　平成23年度　21校　844人
(2)小学校への貸出用資料等の貸出　平成22年度　12校　706人
　　平成23年度　3校　194人
(3)出張授業　　平成23年度　3校
(4)教員対象研修　　平成23年度　2回

6　対前年度予算増減説明

学校向けチラシ作成による印刷製本費の増。
※「4-3-(4)歴史 小・中学校との連携事業」から定款事業区分の変更。

根拠法令	博物館法、新宿区立新宿歴史博物館条例	事業開始	平成18年度

平成25年度事業計画書

（単位：千円）

定　款	1　地域の歴史の記録保存及び普及啓発	事業・枝事業番号	1-4-(5)
事業名	新宿区の歴史・文化の普及・啓発 (5)歴史文化探訪	担　当　課	学芸課
		変更内容	定款事業区分
目　的	1.新宿の持つ歴史や文化財に加えて、自然や地勢、地域の特性など有形、無形の地域の文化・観光資源を再発見し、新たな新宿の魅力を区民らに知ってもらうとともに、区内外へ向けて積極的に情報発信していく。 2.新宿の魅力やまちへの愛着を深め、観光課と連携を図りながら外来者や外国人に向けても積極的に情報発信する。		

区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業収益	180	180	0	部	経常増減の部
自主財源	△ 28	△ 15	△ 13	大	事業費
区補助金	197	197	0	中	1号事業費
経常収益計	349	362	△ 13	種別	自主事業
事業費	152	165	△ 13		
人件費	197	197	0		
経常費用計	349	362	△ 13		

事業の計画

1　実施内容（予定）

(1)新宿区外　2回
(2)新宿区内（新宿区と隣接、関連する地区）4回
(3)史跡ボランティアによる企画、運営を推進する。

2　成果指標

参加者：360人（H23参加者401人）

3　実施上の課題

(1)平日の実施、テーマ性を持たせた企画等を新たに展開していく。
(2)所蔵資料展、企画展等に合わせた史跡めぐりや、新宿区外の関連史跡めぐりを実施する。
(3)観光事業との整合性をとり、相互に特徴をもった事業を展開する。
(4)新たなコース選定をする。

4　顧客満足度の向上方策

参加者および従事ボランティアの声をもとに、新宿の歴史に関連する区外のコースも増やしていく。

5　実　　績

平成23年度　6回　延べ401人　1回平均66.8人
平成22年度　11回　延べ722人　1回平均65.6人
平成21年度　4回　延べ287人　1回平均71.8人

6　対前年度予算増減説明

道路使用料減による使用料及び賃借料の減
※「6-5-(1)歴史文化探訪」から定款事業区分の変更。

根拠法令	博物館法、新宿区立新宿歴史博物館条例	事業開始	平成22年度

平成25年度事業計画書

（単位：千円）

定　款	1　地域の歴史の記録保存及び普及啓発	事業・枝事業番号	1-4-(6)
事業名	＜特定費用準備資金充当事業＞ 新宿区の歴史・文化の普及啓発 (6)林芙美子関連記念事業	担　当　課	学芸課
		変更内容	新規
目　的	新宿区とのゆかりが深い林芙美子の生誕110年記念事業として、全国の林芙美子資料と林芙美子に関する情報を収集、紹介する。		

区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業収益	0	0	0	部	経常増減の部
自主財源	4,670	0	4,670	大	事業費
区補助金	0	0	0	中	1号事業費
経常収益計	4,670	0	4,670	種別	自主事業
事業費	4,670	0	4,670		
人件費	0	0	0		
経常費用計	4,670	0	4,670		

事業の計画

1　実施内容（予定）

平成23年度に林福江様（林芙美子の姪御様）から頂いた寄付金で、24年度予算において特定費用準備資金として措置済みの資金を充当し、下記の事業を実施する。

(1)林芙美子資料の修復・補修・レプリカ作成を行う。

(2)林芙美子に関する資料目録を、林芙美子との関係が深い新宿区、北九州市、鹿児島市とともに作成する。

(3)林芙美子記念館内にある石蔵ギャラリーをリニューアルし、展示設備を充実する。

（新宿歴史博物館の展示会において、「生誕110年記念林芙美子展(仮)」を北九州市、鹿児島市、尾道市とともに協働企画展を実施する。）

(4)本事業については、林福江氏からの寄付による特定費用準備資金を充当して実施する。

2　成果指標

－

3　実施上の課題

(1)林芙美子との関係のある他自治体等と連携した情報交換と業務分担を行う。

(2)記念館施設については、新宿区との調整の上補修等を行う。

4　顧客満足度の向上方策

石蔵ギャラリーの展示設備をリニューアルし、展示スペースの増加をはかる。

5　実　　績

平成24年度新規事業のため平成23年度実績なし

（平成24年度は、林芙美子旧宅を紹介する映像を制作する予定）

【参考】 特定費用準備資金の状況

(1)資金の名称：林芙美子生誕110年記念事業準備資金

(2)活動の実施予定時期：平成24年度から平成27年度

(3)積立金額：10,000千円

(4)本事業への充当額

平成24年度（補正予算） 2,308千円、平成25年度（当初予算） 4,670千円　　合計 6,978千円

(5)資金残額：3,022千円

根拠法令	博物館法、新宿区立林芙美子記念館条例	事業開始	平成24年度

平成25年度事業計画書

（単位：千円）

定　款	1　地域の歴史の記録保存及び普及啓発	事業・枝事業番号	1-9
事業名	博物館ボランティアの活動支援	担　当　課	学芸課
		変更内容	統合
目　的	博物館・記念館等を拠点として、区民との協働と参画による事業を積極的に展開し、新宿の歴史・文化の継承、普及に資すると共に、親しまれる魅力ある博物館づくりを推進する。		

区分	予算額	前年度予算額	比較増減	会計	公益目的事業会計
事業収益	0	0	0	部	経常増減の部
区補助金	5,079	5,851	△ 772	大	事業費
経常収益計	5,079	5,851	△ 772	中	1号事業費
事業費	1,673	2,449	△ 776	種別	補助事業
人件費	3,406	3,402	4		
経常費用計	5,079	5,851	△ 772		

事業の計画

1　実施内容（予定）

(1) ボランティアの活動
① 展示ガイド・・・常設展、所蔵資料展4回、特別展1回、協働展2回の展示案内
② 史跡ガイド・・・歴史文化探訪6回、林氏墓地1回、江戸城外堀1回等
③ 林芙美子記念館ガイド・・・林芙美子記念館の案内、内部公開、庭園観賞会、落合の追憶等
④ アトリエ記念館ガイド・・・佐伯祐三・中村彝アトリエ記念館案内、落合の追憶等
⑤ 事業サポート・・・講座補助、閲覧室補助、メンバーズ通信発行、チラシ発送業務、ガーデニングクラブ等
(2) ボランティアの運営
ボランティア全体会　年2回
(3) ボランティアの参画状況を的確に把握するため、成果指標を変更する。
(4) レベルアップ講座、部会別研修、バス研修の開催

2　成果指標

(1)ボランティア登録者数：150人（H23　登録者数135人）
(2)ボランティア活動回数：1,400回（H23　活動回数2,084回）

3　実施上の課題

(1) ボランティア全体のガイド技術等の向上を図る。
(2) 博物館事業への積極的な参画を図るとともに、活動の場の提供を進める。
(3) 自主的活動を支援すると共に、地域の人的資源として位置づける。
(4) 史跡ガイドボランティアによる選定コース策定を行う。
(5) 各地域におけるボランティアの主体的な活動をコーディネートする。

4　顧客満足度の向上方策

新たに佐伯祐三アトリエ記念館と中村彝アトリエ記念館の案内をするアトリエ記念館ガイドを設け、活動の場を広げる。

5　実　　績

	登録者数	延人数	活動回数
21年度	98	159	1,197
22年度	130	240	3,116
23年度	136	232	2,084

6　対前年度予算増減説明

養成講座隔年実施による減

根拠法令	博物館法、新宿区立新宿歴史博物館条例	事業開始	平成15年度